

音楽でひろがる笑顔 特定非営利活動法人OnPal

News Letter Vol.3

2020.10.20 秋号



発行:福岡市中央区笹丘2丁目22-15「特定非営利活動法人OnPal」
Tel·Fax: 092-761-2853 E-mail: onpal@jcom.home.ne, jp HP: https://onpal.org/

おんぱるチャンネル(YouTube)で音楽配信を開始しました

新型コロナウイルスによって、病院で行っているボランティア活動が大きく制限され、OnPalの活動も、2月26日に行った熊本の向陽台病院を最後に活動が途絶えています。8月10日に福岡市市民福祉プラザ"ふくふくホール"で開催を予定していた「活動報告会&チャリティコンサート」も中止になりました。2013年の設立以来、九州大学病院や福岡市立こども病院など、福岡、佐賀、熊本の11か所の病院で活動してきましたが、まさに想定外の事態です。また、OnPalメンバーの音楽家たちも、コンサートやライブイベントなどの活動の場が次々に失われてとても困っています。しかし、何より心配なのは入院している子どもたちのことです。親との面会すら制限され、院内学級も通常通りには行われていないと聞いています。一般の小中学校は正常な姿に近づきつつありますが、病院では同じようにはいきません。ボランティア活動の再開はまだまだ先になりそうです。

さて、この様なコロナ禍の中でも子どもたちを元気づけるために何かできることはないか、 提携している元気アートプロジェクトと一緒に考えました。元気アートプロジェクトでは、 子どもたちが自分で工作を楽しめるように材料キットを届ける活動をスタートしています。 そしてOnPalでは、YouTubeで音楽の動画を配信する「おんぱるチャンネル」をスタート しました。OnPalの活動は、生の音楽を届けて子どもたちと交流するのが本来の姿なの で、動画配信には抵抗感もありました。しかし、このまま一年間何もできないで終わってい いのかという思いと、動画配信であれば、これまで訪問することができなかった、もっとた くさんの病院の子どもたちにも私たちの活動を見てもらえるかもしれないという期待からス タートを決心しました。

「おんぱるチャンネル」には、これまで8作品をアップロードしています。いずれも手間暇をかけて創作した魅力的な作品ばかりです。一日も早く病院での活動が再開できることを願いつつ、しばらくの間は「おんぱるチャンネル」を充実させたいと考えています。



おんぱるチャンネルの作品紹介

OnPal花火大会

元気アートプロジェクトが子どもたちに届けた工作キットの第一号が「花火の貼り絵アート」です。九大病院やこども病院など3つの病院で57枚の作品が完成しました。OnPalではこの貼り絵にOnPalメンバーの演奏を添えて「花火大会」の動画を作りました。

大濠公園やシーサイドももちの花火大会の動画や写真も織り交ぜて臨場感を高めています。ヘンデル作曲の「王宮の花火の音楽」「水上の音楽」や「ビリーブ」「さんぽ」「いのちの歌」など子どもたちに人気の音楽が バックに流れる花火アートの世界をお楽しみいただけます。



「うんちはかせ」と「カンタローのぼうけん」

8月10日に開催を予定していた「活動報告会&チャリティコンサート」の中止に伴い、演目の紙芝居ミュージカル「うんちはかせ」と紙芝居コンサート「カンタローのぼうけん」の録画撮りを行いました。

8月10日は、元気アートプロジェクトのメンバーと一緒に、コンサートの本番さながらに早朝から舞台のセッティングを、午後から録画撮りを行いました。この2作品は、おんぱるチャンネルの中では制作に最も力を入れた作品です。「うんちはかせ」と「カンタローのぼうけん」は、元気アートプロジェクトと一緒につくったオリジナルの絵本作品です。紙芝居によるコンサートを病院のロビーなどで上演していました。とても楽しい作品なので、是非、全国の子どもたちに観てもらいたいと思います。

コンサートの助成金の使途変更を認めていただいた公益財団法人SOMPO福祉財団に感謝申し上げます。





いたずらっ子ピーターのおはなし

ピーターラビットの読み聞かせ動画です。

On Palメンバーのメゾソプラノ・福田綾子さんがプロデュースしてくれました。動画に出てくるピーターラビットの挿絵はすべて福田さんの手描、シナリオも著作権に配慮して福田さんの翻訳です。

バックミュージックはOnPalメンバーのピアノ・吉冨さんと友人のフルート・大塚さんの演奏で、ナレーションは福田さんです。曲目がアメリカの作曲家、アレクサンダー・デニスの作品を使ったので、著作権協会や出版社の手続きが大変でした。そんなみんなの努力の結晶です。是非、お楽しみください。



音楽授業~フルート、チェロ、ピアノと歌 見て・聴いて・お勉強しよう

おんぱるチャンネル初の「音楽授業」の動画が 9月末に完成しました。いつも音楽授業で行っている楽器を触って音を出すという最も人気のあるプログラムはできませんが、色々な名曲を聴いてもらい、楽器クイズでフルートやチェロのことを勉強してもらったり、手拍子で一緒に演奏を楽しんでもらうなど、退屈しない参加型の内容に仕上がっています。

因みに録画と編集は理事長の真隅が行いました。動画配信のために勉強して作った初めての作品です。



OnPal 音楽授業



フルート、チェロ、ピアノと歌見て、聴いて、お勉強しよう

寝ながらでもできる!ジャン・ケン・ポンの手遊び指遊び!!!

On Palメンバーのソプラノ・曲尾理紗さんが投降してくれた、おんぱるチャンネル最初の作品です。

曲尾さんと助っ人のジャン・ケンポンさん?が、グー・チョキ・パーを使った遊びや、指遊びを教えてくれます。寝たままでも、子どもも大人も楽しめますよ。血行促進、ボケ防止にも効果抜群です。上級編の「キツネ・カメ」ができるようになったら、ぜひ、お友達や家族にも自慢してみてください。



2020年上半期の活動報告

音楽授業:音楽を聴いて、触れて、楽しみましょう

講師:フルート/白木彩子 チェロ/井上 忍歌/曲尾理紗 ピアノ/ハ尋三菜子

補 助:ヴァイオリン/真隅昌子 おもちゃの楽器/真隅 潔

9月19日(土)のぞえの丘病院 久留米市上津町

3月29日に予定していてコロナキャンセルになっていた児童思春期精神科ののぞえの丘病院でやっと活動を再開することが出来ました。演奏した曲目は、ヘンデル作曲「水上の音楽」、シューベルト作曲「鱒(ます)」、バッハ作曲「管弦楽組曲第2番」、アンゲラー作曲「おもちゃのシンフォニー」、ロジャース作曲「サウンド・オブ・ミュージック」です。また、特別に、入院しているWさんが作った「星」という詩に、OnPalメンバーの曲尾さんと八尋さんがメロディーを書いた曲も演奏しました。楽器クイズでは、フルートやチェロのことを色々と勉強してもらい、「おもちゃのシンフォニー」では、シャラシャラと音を鳴らす手作りシェーカーと手拍子の2班に分かれてもらい、一楽章と三楽章を一緒に演奏して楽しみました。ラチェット(ガラガラ)、水笛、カッコウ笛、ラッパなどのおもちゃの楽器の紹介もとても喜んでくれました。

コロナのため、楽器を触らせることはできませんでしたが、あちらこちらで歓声が上がるなど、広い講堂に 集まった20数人の子どもたちに、笑顔と元気を届けることができました。















OnPal会員の音楽家紹介

ヴァイオリン/工藤真菜 チェロ/井上 忍 フルート/白木彩子 フルート/高木華子オーボエ/桐谷美貴子 マリンバ/竹下 恵 ピアノ/吉冨淳子 ピアノ/安浪由紀子ピアノ/安田梨香 ピアノ/扇谷三菜子 ピアノ/道家由志愛 ピアノ/真隅政大ソプラノ/林 麻耶 ソプラノ/曲尾理紗 メゾソプラノ/福田綾子

OnPalからのお願い

入院している子ども達のために行うOnPalの活動は、賛助会費や寄付、補助金等によって行っています。音楽授業やコンサートは、質の高い生の音楽を子ども達に届けることにこだわっており、企画から準備にとても時間をかけています。プロの音楽家にも何度も打合せや練習に付き合ってもらいます。このような活動は、音楽家のボランティア精神だけでは続けることは難しいので、OnPalでは音楽家に謝金を支払っています。つまり、ご支援いただくみなさまの善意を音楽家が音楽授業やコンサートという形に変えて子ども達に贈っているのです。ご支援をいただいている団体・賛助会員のみなさまに心より感謝申し上げます。

現在、OnPalでは、活動を支援していただける方を募集しています。支援の方法は賛助会費のほか、企業のロビーコンサートなどを委託していただく方法などもあります。また、おんぱるチャンネルで紹介している「うんちはかせ」などの演奏を幼稚園などから受託する方法もあります。

重い病気の子どもたちの笑顔のために、是非とも支援者の募集にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

